

坂東市地域公共交通体系整備計画（案）



平成 2 3 年 1 1 月

坂 東 市

坂東市地域公共交通体系整備計画（案）

－ 目次 －

1	はじめに	1
2	坂東市の概要	
(1)	地理的環境	2
(2)	人口の動向	3
(3)	通勤状況	4
(4)	通学状況	5
(5)	主な公共施設	6
(6)	医療機関	7
(7)	自家用車の保有状況	8
(8)	道路の状況	9
3	現況と課題の整理	
(1)	公共交通の経緯	10
(2)	現在の状況	11
(3)	コミュニティバスの利用状況	13
4	アンケート調査の実施概要及び結果	
(1)	アンケート調査の実施概要	29
(2)	調査結果	30
5	地域公共交通体系整備計画	
(1)	新地域公共交通の整備方針	54
(2)	新地域公共交通運行計画	56
(3)	目標	72

資料

- 1 坂東市地域公共交通に関するアンケート調査票
- 2 コミュニティバスバス停別乗降者数

1 はじめに

本市は可住地面積が広く、集落が散在している。また、農業を中心に発展を遂げてきた歴史も加わり、自家用車への依存度が非常に高く、自家用車の保有台数は県内でも上位に位置している。

公共交通は、鉄道駅が無いため、路線バス及びタクシーがその役を担っているが、車社会の進展により自家用車の利用が増大するとともに、少子化による通学利用の減少などにより利用者が減少し大変厳しい状況下に置かれている。

現在は民間事業として、路線バス5系統、高速バス2系統が運行しているが、利用者は減少傾向にあり、運行本数の減少や運行区間の短縮などが続いている。

このような状況下、市では、合併に伴う行政区域の広域化に対応するとともに、高齢者や障がい者などの交通弱者が安全に快適に施設等を利用できる交通環境の整備を目指し、平成18年11月より、市内の各地域を結び、主な公共施設や病院、商業施設などを循環するコミュニティバスの運行を行ってきた。

コミュニティバスの利用状況について1便あたりの利用者数をみると、平成19年度には3,59人と低い状況にあったが、2度にわたる運行の見直しを行うなど利便性の向上に努めたことにより、平成22年度には5,79人と僅かながら増加している状況にある。また、利用者1人あたりの運行経費について、運賃収入を差し引いた額で比較すると、平成19年度には約1,200円であったが、平成22年度には約809円と減少傾向にあるが、利用者に対する市の負担は、まだまだ大きい状況にあるといえる。

また、平成22年度に実施した市民アンケートでは、コミュニティバスを利用しない理由として、「他の交通手段を利用している」という回答が最も多かったが、「運行経路が合わない」、「利用時間が合わない」、「停留所が自宅や目的地から遠い」などの回答も多く出されている。

このような状況の中で、これまでのコミュニティバス運行事業の抜本的な見直しを行い、市の負担をできるだけ抑制するとともに、より利便性の高い、新たな地域公共交通システムの導入を目指すものである。

2 坂東市の概要

(1) 地理的環境

坂東市は、茨城県の南西部に位置し、東は常総市、西は境町、南は利根川を挟んで千葉県の野田市、北は古河市、八千代町と接している。面積は、123.18km²で東西約12km、南北20kmとなっている。

市の南西には利根川、南側に飯沼川、東側に西仁連川が流れ、その周辺には広大な水田が広がっている。また、南端には菅生沼があり、多くの生き物が生息する貴重な水辺空間が残されている。

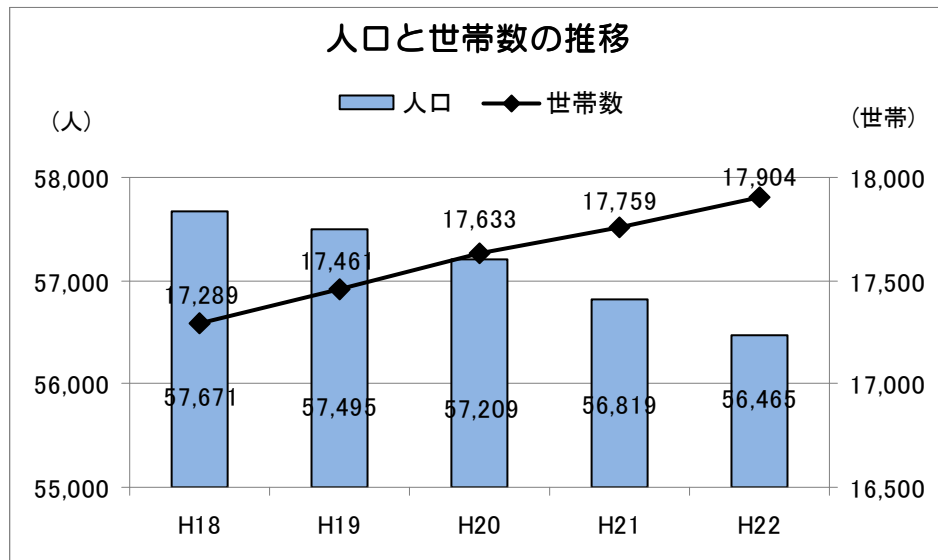
市の中央部は猿島台地とよばれる概ね平坦な台地が広がっており、全国有数の生鮮野菜の供給基地となっている。



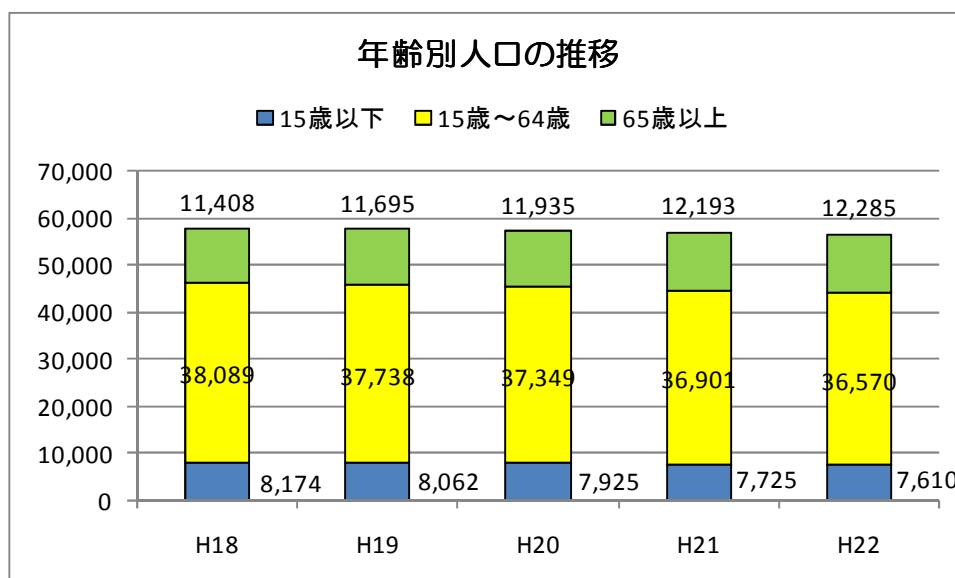
(2) 人口の動向

人口について、平成18年と平成22年を比較すると1,206人減少しているが、世帯数は615世帯増えており、核家族化が進んでいる。

また、年齢別の人口について平成18年と平成22年を比較すると、15歳未満の人口が564人減少しているのに対し、65歳以上の人口は877人増加しており、少子高齢化が進展している。



資料：住民基本台帳人口（各年10月1日）



資料：住民基本台帳人口（各年10月1日）

(3) 通勤状況

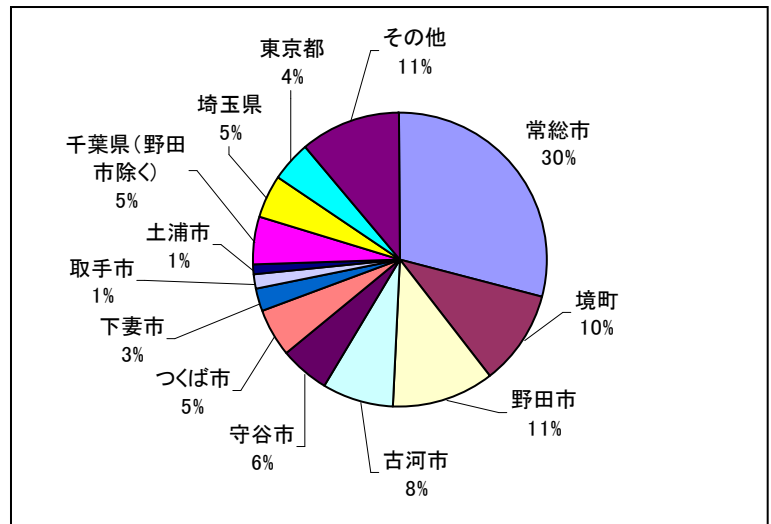
本市からは隣接する常総市・千葉県野田市・境町への通勤者が多く、本市への通勤者は常総市・境町・古河市の順となっている。

市外への通勤状況(15歳以上)

(単位:人)

通学先	人数
常総市	3,277
境町	1,133
野田市	1,251
古河市	872
守谷市	630
つくば市	584
下妻市	304
取手市	165
土浦市	134
千葉県(野田市除く)	593
埼玉県	540
東京都	477
その他	1,256
計	11,216

資料:平成17年国勢調査

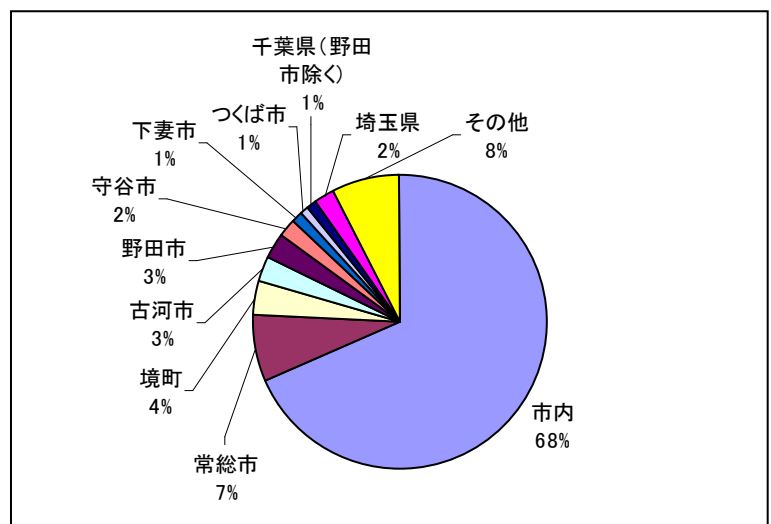


市内への通勤状況(15歳以上)

(単位:人)

居住地	人数
市内	19,553
常総市	2,074
境町	1,061
古河市	853
野田市	787
守谷市	521
下妻市	369
つくば市	309
千葉県(野田市除く)	318
埼玉県	595
その他	2,152
計	28,592

資料:平成17年国勢調査



(4) 通学状況

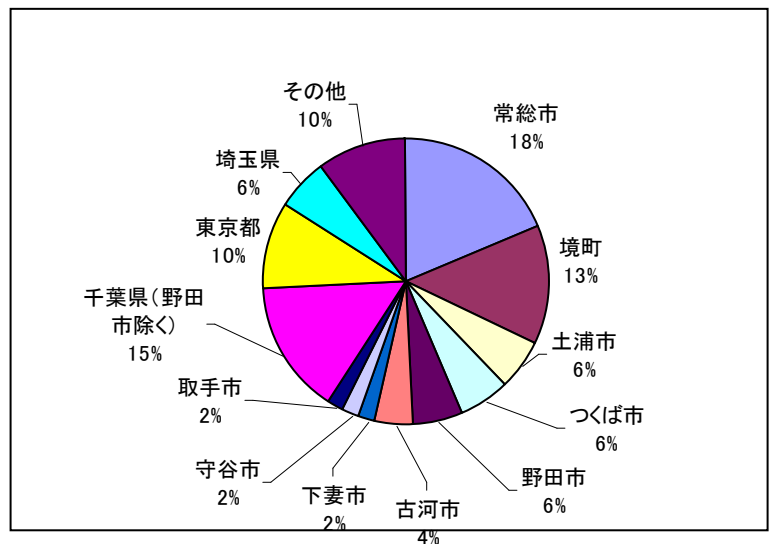
本市からは隣接する常総市・境町への通学の割合が大きいですが、土浦市やつくば市など県南地区や千葉県、東京都など県外へも643人が通学するなど広範囲にわたっている。本市への通学者は市内居住者が大半を占め、市外からは常総市・境町の順となっている。

市外への通学状況(15歳以上)

(単位:人)

通学先	人数
常総市	296
境町	207
土浦市	90
つくば市	89
野田市	87
古河市	65
下妻市	32
守谷市	29
取手市	28
千葉県(野田市除く)	238
東京都	151
埼玉県	96
その他	158
計	1,566

資料:平成17年国勢調査

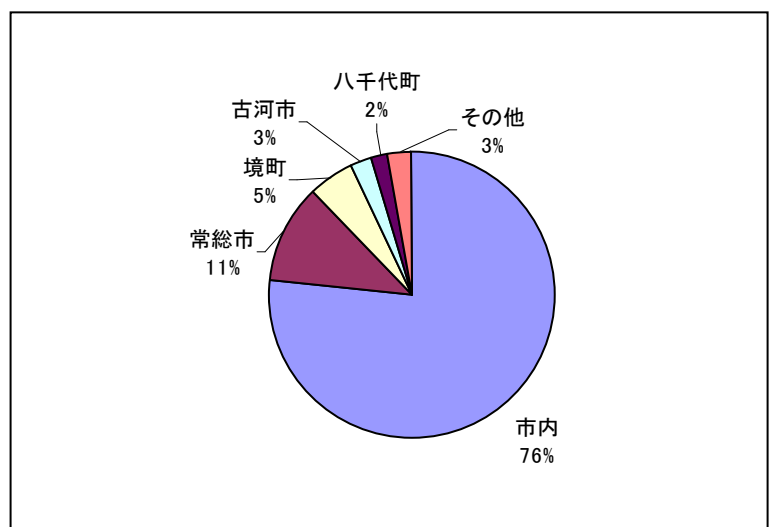


市内への通学状況(15歳以上)

(単位:人)

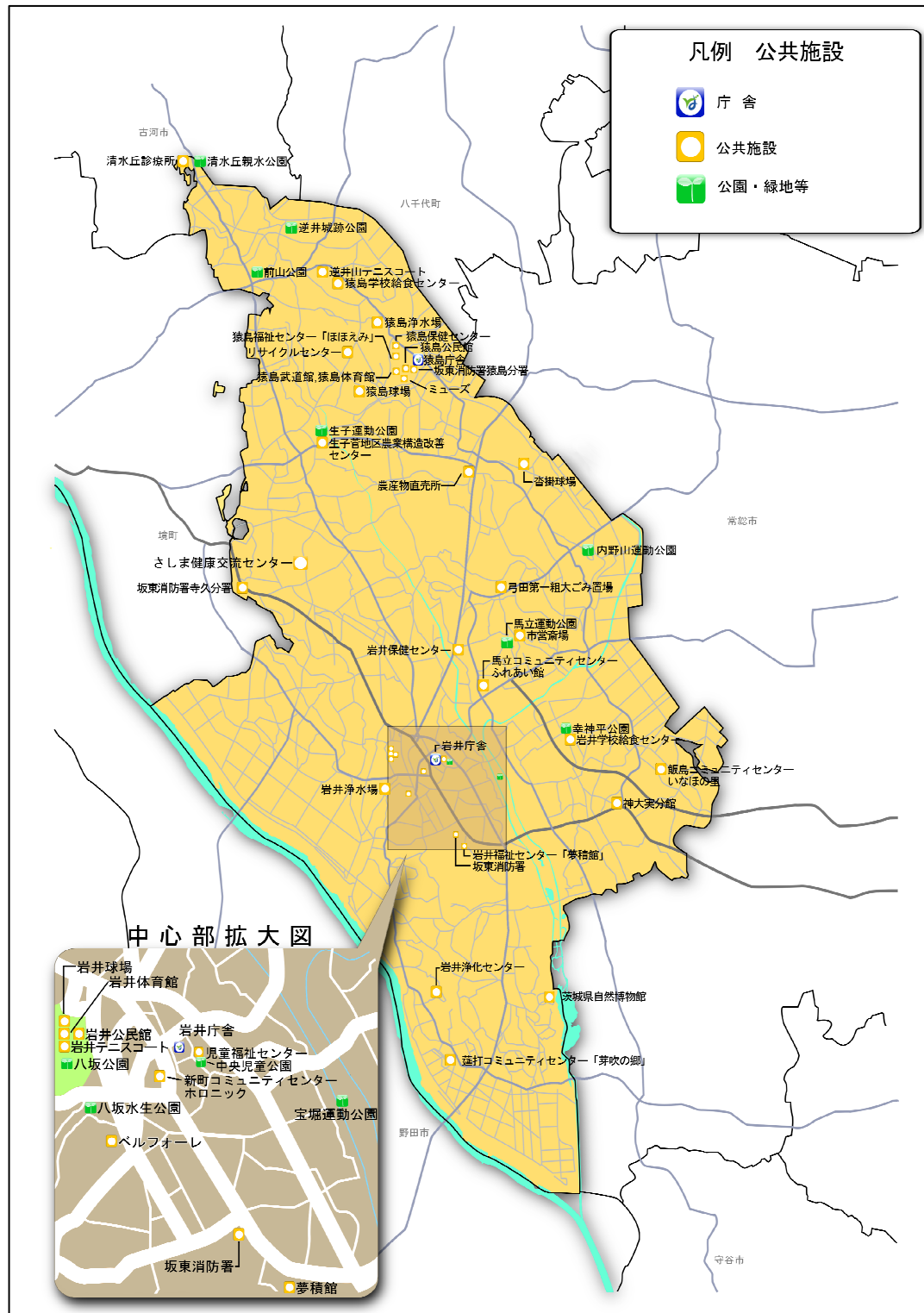
居住地	人数
市内	1,316
常総市	191
境町	87
古河市	45
八千代町	27
その他	49
計	1,715

資料:平成17年国勢調査



(5) 主な公共施設

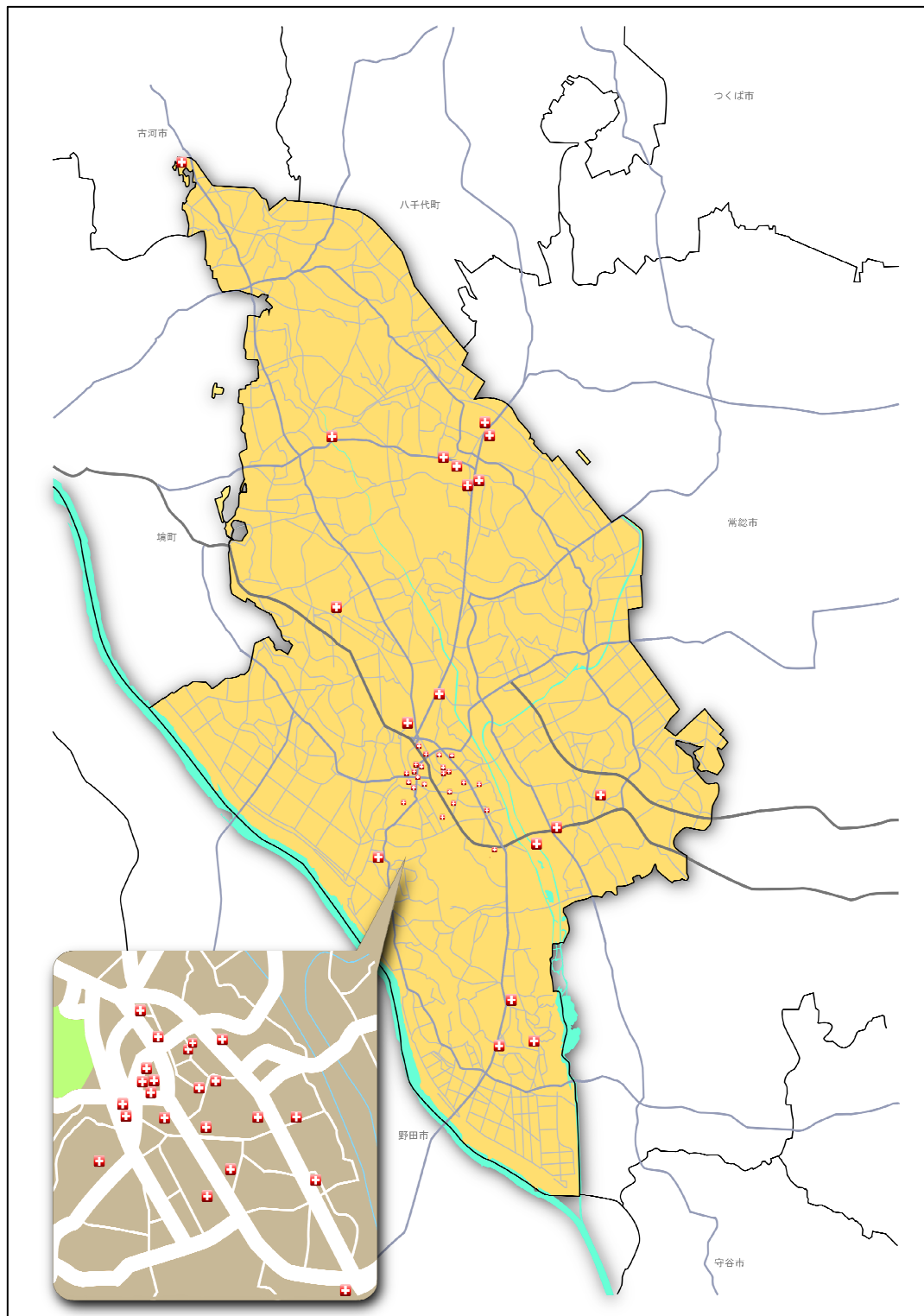
平成17年3月の坂東市誕生以来、合併前の両市町の庁舎である岩井庁舎・猿島庁舎に市役所機能を分散して業務を行っている。公共施設は両庁舎付近にある程度の集積があるものの、市内に広く分布している。



(6) 医療機関

本市には、100以上の一般病床を有する病院がなく、周辺市町村を含めた広域の二次保健医療圏である「古河・坂東保健医療圏」の中で、市内外の医療機関とも連携し、休日・夜間の救急医療や小児医療体制の確保に努めている。

市民の身近な地域医療を担う診療所は市内各地に分散している。



(7) 自家用車の保有状況

茨城県の自家用車保有台数は全国第3位で、全国平均を大幅に上回っている。その中でも坂東市は第6位と上位に位置している。

自家用乗用車保有台数(千人あたり)

平成22年3月31日現在

順位	都道府県名	指標値
1	群馬県	638.0台
2	栃木県	614.7台
3	茨城県	610.3台
4	富山県	608.4台
5	長野県	596.3台
	全国	452.0台
47	東京都	239.8台

計算式：自家用乗用車台数÷総人口×1000

資料出所：自動車検査登録情報協会資料
推計人口(総務省)

自家用乗用車保有台数(千人あたり)

平成22年3月31日現在

順位	市町村	指標値
1	美浦村	840.60
2	下妻市	761.23
3	小美玉市	706.85
4	稲敷市	669.29
5	鉾田市	665.65
6	坂東市	662.76
26	水戸市	619.81
	茨城県	608.84
	県西地域	643.61

計算式：(自家用乗用車台数+軽自動車台数)
÷総人口×1000

資料出所：市区町村別自動車保有車両数(関東運輸局)
市区町村別軽自動車車両数
(全国軽自動車協会連合会)
茨城県常住人口調査(茨城県統計課)

【参考】環境指標・統計：自動車CO2排出量

年間一人当たりCO2排出量

(単位：t/年)

	1980年度	1985年度	1990年度	1994年度	1999年度	2005年度
全国	1.09	1.18	1.33	1.54	1.80	1.78
茨城県	1.11	1.32	1.52	1.55	1.98	2.02
坂東市						3.23
岩井市	1.37	1.24	1.77	1.20	2.33	
猿島町	0.23	1.33	2.04	1.98	2.44	
境町	1.12	1.38	1.97	1.50	2.16	1.58
五霞町	1.30	0.89	1.47	2.26	2.88	2.75
古河市						2.04
古河市	1.19	1.26	1.00	1.14	1.47	
総和町	1.04	1.17	1.48	1.74	2.22	
三和町	1.35	0.92	1.46	1.66	2.45	
八千代町	1.71	1.89	2.46	1.81	2.67	2.15
常総市						2.34
水海道市	1.31	1.76	1.37	1.85	2.58	
石下町	1.15	1.59	1.02	2.27	2.34	
下妻市						3.40
下妻市	1.31	1.80	2.04	1.84	2.24	
千代川村	1.52	1.74	2.27	2.08	1.94	
野田市						1.46
野田市	0.86	0.95	1.28	1.40	3.82	
関宿町	1.33	0.73	1.18	1.64	2.28	

(独立行政法人 国立環境研究所HPを基に作成)

道路交通センサス自動車起終点調査(OD調査)をもとに推計。

年間総CO2排出量は、自動車が登録されている市区町村別に、車種別平日休日別の1日の走行距離(走行台キロ)を集計し、平日休日年間日数と車種別二酸化炭素排出係数を乗じて推計した値。

年間1人当たり排出量は、年間総CO2排出量を当該年度末時点の市区町村の住民基本台帳人口で除した値。

(8) 道路の状況

国道354号が東西に横断するとともに、354号バイパスの整備を茨城県と共同で整備を進めている。また主要地方道3路線、県道10路線が配置されている。さらに、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の整備が進められており、インターチェンジも整備されることから、広域的な道路体系が整備されつつある。

